

# 全国協議会 ニュース

2019年8月1日発行 第326号

発行所：特定非営利活動法人  
全国骨髄バンク推進連絡協議会  
〒101-0031 東京都千代田区東神田1-3-4KT ビル3階  
TEL：03-5823-6360 FAX：03-5823-6365  
発行責任者：田中重勝 題字：仲田順和（会長）  
https://www.marrows.or.jp E-Mail:office@marrows.or.jp

## ドナー休暇制度、ドナー助成制度 導入の推進を

骨髄及び末梢血幹細胞を提供する場合、ドナーは8回前後平日の日中に医療機関へ出向き、また入院します。その日々をドナー自身の有給休暇を使うのではなく、勤務先が特別休暇として認めるのが「ドナー休暇制度」です。ドナー支援制度にはこの他に都道府県や全国の市町村が制定する「ドナー助成制度」がありますが、両制度ともまだまだ導入が少なく推進活動が必要です。

### 安倍首相「骨髄バンクへの 支援充実」を表明！

今年2月18日の衆院予算委員会で安倍首相は、「ドナーになりやすい環境を整備することが重要。企業などにドナー休暇制度の導入を働きかける活動の支援をしていく。若年層ドナー登録者を増加させることが重要。」と表明しました。

### ドナー休暇制度導入の現状

2019年7月1日現在、日本骨髄バンクでドナー休暇制度の導入の確認が取れている企業・団体は381社です。経済産業省中小企業庁によると日本の大企業数は1.2万社(0.3%)、中小企業数は420万社(99.7%)ですので、ほとんど導入されていないのが現状です。導入している企業も大企業がほとんどです。安倍首相の言う支援の追い風を受け、導入を推進する必要があります。

千葉県では千葉骨髄バンク推進連絡会(千葉の会)が、県に働きかけ、18年5月に千葉県知事名で県内の経済関係6団体に「ドナー制度導入の整備・広報」について依頼書を発出頂くとともに、業務課長名で県内各商工会議所会頭に「ドナー制度導入の整備」について依頼書を発出頂きました。一方千葉の会では、県議会議員、各市議会議員と面談し、経済関係団体への働きかけをお願いしました。また、各経済団

体を訪問し、直接導入依頼をしています。1社でも導入企業が増えるよう今後も推進活動を継続してまいります。

### ドナー助成制度導入の現状

2019年7月12日現在、ドナー助成制度を導入している都道府県は、47都道府県中21で導入率は45%。また導入している市町村は562で全国の市町村は1,724なので導入率は33%で、まだまだ少なく、導入推進が望まれます。(導入数は日本骨髄バンク調べ)

助成金は各市町村で異なりますが代表的な例は、ドナーに2万円/日(7日上限)、ドナーの勤務する会社に1万円/日(7日上限)です。そしてその金額の1/2を県が市町村に補助しています。

千葉県では千葉の会が、県、県議会議員に導入を働きかけた結果、県は17年8月4日に導入し、17年4月に遡って適用しました。また、県に依頼し同年9月1日に全54市町村の担当者に出席頂き、県庁でドナー助成制度導入の説明会を開催しました。一方千葉の会では、市町村担当課、市町村議会議員に導入を働きかけるとともに、各市町村役場、健康センター等で開催する献血併行型登録会時に千葉の会の説明員が各市町村課長、担当者に直接導入を依頼する努力を継続してきました。この結果、19年7月22日現在54市町村中35で導入され、導入率は65%になりました。しかしまだまだ未導入の市町村が19もありますので、埼玉県

(63市町村すべて導入)、群馬県(35市町村すべて導入)のように100%導入を目指し、推進活動を継続します。

(梅田 正造)

## 白血病患者支援募金

募金箱の設置場所募集中！  
ご協力をお願いします。



店頭や事務所などに募金箱を設置して、私たちの白血病患者支援活動を支えてください。集まった募金は、年に2回お届けする郵便振替用紙にてお振り込みをお願いしています。また、募金額については、協議会ニュースに、企業・団体・店舗名などと一緒に掲載させていただきます(匿名をご希望の場合は、匿名にて掲載いたします)。どうか皆さまの温かいご支援・ご協力をお願いいたします。

### 骨髄バンクの最新情報をお知らせする

#### 骨髄バンク NOW

《MONTHLY JMDP(7月12日発行)より抜粋》

#### ■日本骨髄バンクの現状(2019年6月末現在)

	5月	6月	現在数	累計数
ドナー登録者数	4,737	4,663	518,848	794,919
患者登録者数	243	226	2,249	56,873
移植例数	101	106	-	23,314

#### ■6月の区別ドナー登録者数

献血ルーム/1,368人、献血併行型集団登録会/3,092人、集団登録会/75人、その他/128人

#### ■6月の年齢別ドナー登録者数(現在数)

10代 5,833人/20代 79,276人/30代 139,404人  
40代 221,117人/50代 73,218人

#### ■6月の20歳未満の登録者704人

■6月末までの末梢血幹細胞移植(PBSCT)累計数：752件

注)数値は速報値のため訂正されることがあります。

# 全国骨髓バンク推進連絡協議会 役員紹介

2021年度までの2年間の新体制がスタートしました。7月21日(日)には初の理事会を開催し、役割分担などを定めるなど全国協議会の患者支援活動のさらなる充実、発展に向けて役員一同決意を新たにいたしました。新しく理事になったメンバーに自己紹介をお願いしました。



## 加藤 弦

北海道ブロックの加藤弦です。

前の任期においては、老々介護のために、他の理事さんたちにもたいへんご迷惑をおかけしました。

この任期は、そのお詫びのためにも意を尽くして参りたいと思います。乏しいながら、活かせる経験もあるかと思えます。北海道在住のハンディはあるにせよ、軽微です。精一杯努力していきます。

北海道はいくつかの問題点を先取りしてきました。一つには登録抹消率が全国平均よりも10ポイント高い。これなどは明日の骨髓バンクに襲ってくる事が確実な問題だと思えます。

もちろんこれは全国協議会ではなく、日本骨髓バンク自身と、実際の普及啓発にあたる地域団体の課題です。各地域に根ざす加盟団体の活動にも目を配りつつ、全国協議会に課せられた役割を果たすべく、30年を闘った骨髓バンクの近未来をしっかり見据えていきたいと思えます。



## 菅 早苗

今回、また理事に就任しました秋田の菅早苗です。理事を離れていた2年間も副会長として活動に関わらせていただいていたので、新理事紹介というコーナーで紹介していただくのも気恥ずかしい思いでいます。

私が骨髓バンク設立活動に参加してから29年目になりました。その間、悲しいお別れもあり、新たな出会いもありの日々でした。骨髓バンクのドナー登録の方法も血液センター(骨髓

データセンター)に電話予約して採血(一日5人まで、曜日等の制約有)、という時代から、現在では全国の献血ルームや献血車で登録を受け付けるようになりました。今や全米バンクで行われている、口腔粘膜を自分で拭いて郵送するスワブ方式での登録も夢ではなくなっており、隔世の感があります。

また、新たな気持ちで骨髓バンクの充実や医療環境の整備、患者・ドナー支援活動のために少しでもお手伝いができるように頑張ります。

また、新たな気持ちで骨髓バンクの充実や医療環境の整備、患者・ドナー支援活動のために少しでもお手伝いができるように頑張ります。



## 笠原 千夏子

新理事に就任させていただきました「骨髓バンク長野ひまわりの会」代表の笠原千夏子です。全国協議会に加入してからまだ間もない私が理事で大丈夫?と不安ですが精一杯頑張りますので宜しくお願い致します。

私は7年前に「慢性骨髓性白血病」を発症し6年前に実弟がドナーになり末梢血幹細胞移植を受けました。弟と型が一致していなければドナーさんを探さなくてはいけない、そしてもしかしたら今ここに居ないかもしれないという気持ちで今生かされている命を無駄にしてはいけないと思い、今度は私が人を助けたいと強く思い説明員になり団体を立ち上げました。

私が病気になった時は、私も骨髓バンクを知らなかった位です。長野県は毎年ドナー登録数全国最下位!でも数を競う事ではありません。まずは骨髓バンクを知ってもらう事が大切なので今後もしっかりと伝えていきたいと思っております。

一人でも多くの患者さんを笑顔にする為にも私が笑顔で頑張っていきたいと思えます。

皆さん宜しくお願い致します。

役員一覧	
役職	氏名
会長	仲田 順和 (重任)
副会長	渋谷 俊徳 (重任)
副会長	東井 朝仁 (重任)
副会長	野村 正満 (重任)
理事長	田中 重勝 (重任)
副理事長	村上 忠雄 (重任)
副理事長	梅田 正造 (重任)
副理事長	若木 換 (重任)
副理事長	山村 詔一郎 (重任)
理事	加藤 弦 (再任)
理事	菅 早苗 (再任)
理事	笠原千夏子 (新任)
理事	北折健次郎 (重任)
理事	浅野 祐子 (重任)
理事	山口 明大 (新任)
理事	辻 枝雄 (重任)
監事	陽田 秀夫 (重任)
監事	一樂 邦彦 (重任)
顧問	大谷 貴子
顧問	岡村 正
顧問	鎌田 薫
顧問	谷口 修一
顧問	岩城 光英



## 山口 明大

この度、ご縁があり新たに理事に就任させていただきましたことになりました四国徳島県在住の山口明大です。

1976年5月29日生まれの43歳。

普段は、市役所に勤務している地方公務員です。慢性骨髓性白血病を発症したのは、入庁した直後の2001年6月。一年後に骨髓バンクを通してドナーさんから新しい命をいただきました。回復後、直接お礼を言えないドナーさんの代わりに、今も病気と闘っている仲間たちに生きる希望を伝えたいと思い、もう一つの肩書であるプロ雀士という立場を使って、チャリティ麻雀大会を開催しています。

先輩方にご指導していただき、全国のボランティアの方々と一緒に患者の皆様のお力になれるよう精一杯務めさせていただきますので宜しくお願いします。

# 一緒に活動する仲間が増えました!

骨髄バンク事業推進のため、全国各地ではボランティア団体が日々活動をされています。このたび、京都の「なかよし会」と宮城の「I・O・K」が全国協議会に加盟しましたのでご紹介します。

## 京都血液疾患患者家族の会 「なかよし会」

この度お仲間入りさせていただきました「なかよし会」は長男が骨髄移植を受けた直後の21年前家族で立ち上げました。以降ボランティアとして活動してきました。

地元京都府南部、京都市内を拠点とし、行政、日赤と上手く連携しながら併行型登録会を基本に取り組んできましたがもっと違う方法があるのではないかと思う日々がかさなり、スタッフとも相談し、お仲間にとお願いしました。

現在行政主催の登録会および、毎年10月に行われる骨髄キャンペーンには、KBS 京都ラジオとなかよし会がタイアップし生放送を入れて少しでも患者さんに楽しんでもらおうと考えてきました。いつのまにか登録数・若年層という言葉に追いかけられ、軌道修正しなければと考えています。

今年も10月26日(土)に地下鉄コト地下広場で「骨髄バンク in 京都」の開催が決定しました。

私も世間並みに二人の孫の「ばあば」になりました。ドナー様に感謝です。初心に戻って皆様の足を引っ張らないよう頑張りたいと思います。

(代表 中津 和美)



## 骨髄バンクを支援する宮城 I・O・K

今度、新たに皆様の仲間に入れてもらう私たちは、平成4年に石巻(I)、5年に大崎(O)、その後気仙沼(K)が立ち上がり各団体がそれぞれの特色を活かし骨髄バンク活動を行って来ました。

以前は宮城の協議会に属し宮城の中心的な役割で活動を行って来ましたが、あの東日本大震災があり石巻、気仙沼の沿岸地域が甚大な被害を受け、まずは自分たちの住むところや毎日の生活などに追われ、活動そのものが出来る状態では無くなりましたが、各方面の方々にも支援をいただいたり、物事も前向きな考えで少しずつでも前に進むことが出来ました。

その後ちょっとした事がきっかけで宮城の協議会を石巻、大崎、気仙沼が退会して身の丈に合った活動を行って来ましたが、今年の4月から各団体それぞれの活動をしながら「骨髄バンクを支援する宮城I・O・K」(代表:大友文司(大崎))として全国協議会の仲間に入れてもらうことになりました。全国の仲間と一緒に骨髄バンク活動が出来ることをうれしく思うとともに、より良い骨髄バンクになることを期待して頑張っていきます。皆様方にはさらなるご支援ご鞭撻ご協力をお願い申し上げます。復興途中ではありますが、石巻、大崎、気仙沼に遊びに来てくださいね。

(小野 喜代人)

## ゴールドジム寄付金贈呈式

6月16日(日)チャリティーイベント ゴールドジム格闘技スクール発表会2019が、JR大森駅前のゴールドジム東京アネックスで開催されました。参加者からの募金が骨髄バンク・東日本大震災・熊本地震に寄付され、寄付先代表として贈呈式に参加し、寄付金をいただいてまいりました。

空手家でもあり、K-1ファイターでもあった故アンディ・フグ氏は、2000年に急性骨髄性白血病で35歳という若さでこの世を去りました。

アンディ氏と長い付き合いのあったゴールドジムの社長が、アンディ氏亡き後、同じ白血病で苦しんでいる方々のために私たちに出来ることはないかとの思いから、チャリティーイベントとして開催されるようになりました。

当日はちびっこから大人までの男女が多数参加し、会場は熱気に溢れていました。リング上では、空手の基本技・型・組手の模範演舞に続き空手、格闘技の試合が行われました。熱い思いを胸に秘め、集まったスクール生の皆様の渾身のパフォーマンスに感動し楽しませていただきました。

ありがとうございました。

(村上 忠雄)

## 秋の駒沢・ランナー募集!

「2019 グリーンリボンランニングフェスティバル」が、10月14日(月・祝)に東京・駒沢オリンピック公園で開催されます。このランニングフェスティバルは移植医療を受けた方や障がい者、一般ランナーと一緒に楽しく走り、移植医療に対する正しい知識・理解を深めるイベントです。骨髄バンクPRランナーと応援ボランティアを募集します。

ランナーは8月29日(先着順)、応援ボランティアは9月30日までに全国協議会事務局へ。競技種目など詳しくは当協議会ホームページをご覧ください。

## ご自宅に眠るお宝が支援に!

ブランド食器や貴金属、大判小判から携帯電話まで、ご自宅に眠っているお宝を「お宝エイド」にお送りいただくと、買取額を当協議会へ寄付いただけます。

「お宝エイド」は、TMコミュニケーションサービス株式会社の寄付プログ

ラムで査定額に10%の上乗せをしてくれます。ゆうパックの着払いで送れるので、送料もかかりません。

眠っていた宝物が誰かの宝物に、そして白血病の患者さんの支援になります。送り先やどんな品物が寄付になるかなど、詳しくは全国協議会のホームページをご覧ください。

**各地のたより**  
各地のたよりを  
写真を添えて  
お寄せください。

茨城

**いばらきの会の  
創立 20 周年記念総会**



骨髄バンクを支援するいばらきの会（いばらきの会）の総会が、6月16日（日）つくば市市民活動センターで開催され、千葉の会から円東、北村美、梅田が参加しました。いばらきの会は今年で創立20周年を迎えました。以前は、全国協議会の会員でしたが諸事情で退会しています。会員数は現在20名ほどで、牛島英二会長、染谷和博副会長、伊井義人事務局長を中心に「気負わず、あせらず、できることから、楽しく」をモットーに活動しています。献血併行型登録会を年間32回開催し、献血ルーム（水戸、つくば）での登録推進活動を42回実施しています。茨城県の2019年3月末のドナー登録者数は、8,536名になります。

千葉の会は、いばらきの会が創設以来盟友としてお付き合いさせて頂いています。今回は20周年の記念総会にお招きいただき、議事終了後私が千葉の会の活動について講演をし、その後ペンシルバルーン講習会を開催し、いばらきの会の11名の皆さんと和気あいあいに犬、ネズミ、剣、花、トンボ等々を作りました。その様子は、写真をご覧ください。

講習会の後は、会場を居酒屋さんに移し、懇親会に参加させて頂き夜遅くまで大いに語り合い楽しいひと時を過ごしました。いばらきの会の皆様、ありがとうございました。

（千葉の会 梅田 正造）

**賛助会員の皆さま紹介（敬称略）**

**【一般賛助会員】**

熊坂 賢次=岐阜

青森

**第10回あおもり  
チャリティーフラショー**



私たち「血液疾患と歩む患者・家族の会まるまる」が後援し、会場にブース出展をさせていただいている「あおもりチャリティーフラショー」が記念すべき10回目を迎えました。

青森市内でフラダンス教室を主宰し、「青森フラ協会」の会長でもある木村邦子先生は、2006年に急性リンパ性白血病で御夫君の邦之さんを亡くされています。そしてご本人も難病ギラン・バレー症候群で命の危機を経験していらっしゃいます。その邦子先生が県内のフラダンス教室に声かけし、イベントを企画されました。

10回目となる今回は6月30日（日）リンクモア平安閣市民ホール（青森市）にて計5団体が参加し、第1部では、就学前の小さいお子さんから70代の皆さんの、素敵フラダンスが25曲、第2部ではハワイアンバンドの演奏も行われました。満席の中、120名を超える皆さんが出演する華やかな公演でした。収益金の一部は日本骨髄バンクのほか私たち患者団体にも寄付して下さっており、これまでの合計は100万円を超えたそうです。

これからも一緒に血液疾患と骨髄バンクをお知らせできる機会をもてますように。そして、骨髄移植を待つ患者

さんたちの希望に繋がりますようにと願っています。

（血液疾患と歩む患者・家族の会まるまる 山本 俊二）

秋田

**海の日  
チャリティーゴルフ**



7月15日（月・祝）の海の日、「第24回チャリティーゴルフ大会」を秋田カントリー倶楽部に於いて開催しました。

ゴルフ場の隣は高校野球の県予選真っ只中のこまち球場です。当日は秋田市内の高校の対決とあって、大歓声の中でのプレイになりました。今年の秋田は春からずっと少雨が続き、例年海の日梅雨の最中で大雨の心配をしなければならないのですが、今回は天気にも恵まれ楽しい一日になりました。

プレイ終了後の表彰式では、協賛各社からご提供いただいた賞品で溢れ、参加者全員に賞品を持って帰っていただきました。由利本荘市から参加の優勝者からは「こまちスタジアムの声援を自分への応援と思ってがんばりました。来年もまた会いましょう。」と力強いスピーチがあり、今年の大会は無事終了しました。

活動費捻出のためにスタートしたゴルフ大会も、「海の日骨髄のゴルフ」と覚えていただくようになり、また一年活動に頑張れる活力をもらいました。

（秋田の会 菅 早苗）

**心からのご寄付に感謝申し上げます ●6月21日～7月20日(敬称略)**

<p>●一般</p> <p>株式会社チエノワ情報システムズ 現金 14,911円</p> <p>株式会社 THINK フィットネス 現金 215,408円</p> <p>飯田 実 現金 500,000円 藤波 敬子 現金 10,000円 山村 詔一郎 現金 3,000円 塩谷 泰人 現金 1,000円 松浦 大助 現金 8,889円 匿名 現金 10,000円 匿名 現金 3,000円</p>	<p>●佐藤さち子患者支援基金</p> <p>神奈川骨髄移植を考える会 現金 100,000円</p> <p>公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 現金 4,249円</p> <p>公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 現金 5,987円</p> <p>潮見台内科クリニック 現金 80,000円</p> <p>スタッフ一同 現金 5,000円</p> <p>小野塚 照直 現金 20,000円</p> <p>福岡 勝利 現金 1,000円</p> <p>ムラタ ユウコ 現金 1,000円</p>	<p>●こうのとりのマリン基金</p> <p>匿名 現金 3,000円</p> <p>●募金箱</p> <p>株式会社クスリのアオキ 現金 489,446円</p> <p>理容室いぶき 現金 2,281円 イースト薬局 現金 17,105円 宇部商工会議所 現金 1,380円 有限会社長崎バイアクリーニング 現金 11,145円</p> <p>●つながる募金</p> <p>匿名 現金 7,900円</p>
--	---	--

活動資金の支援をお願いします 銀行口座 三井住友銀行 新宿通支店 郵便振替口座 00150-4-15754 普通 5666655

口座名：特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会